

報告

北海道本部 社会活動委員会平成 29 年講演会

『最先端ビジネス思考で人生にイノベーションを』

河村 巧

1. はじめに

社会活動委員会主催の平成 29 年講演会は、下記の要領で開催しました。

日時：平成 29 年 11 月 10 日(金) 15:00～17:00
 会場：TKP 札幌駅カンファレンスセンター 3 階
 (札幌市北区北 7 条西 2 丁目 9 旧代ゼミビル)
 [プログラム]
 15:00 開会挨拶 公益社団法人日本技術士会
 北海道本部長 森 隆広
 15:05～講演
 『最先端ビジネス思考で人生にイノベーションを』
 北海学園大学大学院経営学研究科・経営学部教授
 菅原 秀幸 氏
 16:40 質疑・応答
 17:00 閉会挨拶 公益社団法人日本技術士会
 北海道本部 社会活動委員会
 委員長 岩田 徳夫
 参加者 101 名(一般 35 名)
 17:30～ 情報交換会 出席 30 名

講演に先立ち、森本部長より挨拶があり、一般参加者向けに、技術士法や 21 部門ある技術士に関する説明、業務独占ではなく名称独占であること、また資質の向上のための技術の研鑽も責務で、技術士会では講演会やセミナー、見学会他を実施していること等の説明がありました。さらに、社会活動委員会の講演会は、技術士向けの専門技術と違い、視野を広げるような講演会を実施しており、今回は参加者を含め自分も、人生のイノベーションのヒントが得られればと期待している旨の話がありました。

当初の皆さんへのご案内メールでは「目から鱗のビジネス思考を学びませんか」とのキャッチーな投げかけもあり、『最先端ビジネス思考で人生にイノ

ベーションを』という演題を認識されていない方もいらっしゃるようでした。



写真-1 森本部長の開会挨拶

2. 講演内容

菅原講師は、生徒たちにはグーグルで調べられることはその場で調べ、覚えなくても良いとしており、普段の授業ではツイッターを使い、インプットしながらアウトプットとしてツイートしながら授業を受けてもらうそうです。なくしやすい紙に書くのではなく、デジタルで記録を残す方が良い。この講演もどんどん撮影してほしいとのことでした。

講演を始められる前に、普段の授業と同様の講演に関係する図が印刷されている A3 用紙が配られ、また個人スマホを出し、隣同士で写真を撮るところから始まりました。

暗記の時代ではなく、全部グーグルに聞けといっているが、一つだけ暗記してほしいキーワードとして、Serendipity が明示されました。この言葉、知らない方は手元の携帯で調べてくださいとのこと、通常の技術講演会とは全く違う講演形式でした。

次頁から、菅原先生の 30 年間の成果の一端としての講演概要を報告しますが、紙面の都合上かなり割愛していますので、ぜひ YouTube で、菅原秀幸、グローバル講座、を検索して視聴してください。

(1) オンリーワン

学生には、自分のことをキーワード3つで表すように言っており、誰でも三つを掛け合わせるとオンリーワンになるので、自分のことをスパッと短い文書で表すことができるとのこと。

先生の場合は、Different×Global×世界標準をいつも意識し、これらが行動基準となっており、自分は国際経営学者(30年)×アカデミック・コーチ(10年)×社会企業家(1年)とのことで、国際経営学者は世界に5千人程いても、この3つでオンリーワンとなっているそうです。

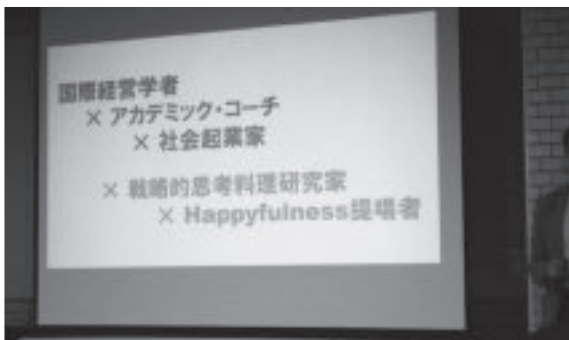


写真-2 菅原先生の自己紹介

現在は、×戦略的思考料理研究家×Happyfulness提唱者の2つを加えて次の5年間へ、さらに10年後は、×??を2つ加え、全てで7つ掛けたら、どこにもいないオンリーワンになるはずとのこと。

(2) パラダイムシフト

投資の神様ウォーレン・バフェットは、「ルールに従えば確実に結果が出せる」とし、第2の経営の神様である京セラの稲盛和夫会長は1に利他の心、2に原理原則、3に感謝と謙虚と言っている。

今、20世紀脳から22世紀の脳へのパラダイム



写真-3 パラダイムシフト-1

シフトが起きているとして、以下の説明があった。

変化はチャンスで、経営学者は人口減少時代でもチャンスと捉える。どんなパラダイムシフトが起きているかを知ることがとても重要で、環境の変化に適應できない種は絶滅するというのが自然界の掟。

目に見える世界でのパラダイムシフトは、IoT×AI×Robotで、20世紀から22世紀のパラダイムシフトの事例として日本のロボット主体の変なホテル、中国の無人のコンビニ、ドバイのおまわりロボットが示された。今後は区役所もロボット化か？。

50の言語で双方向のコミュニケーションができるポケットークが出てきた。通訳がいらない。バーバルコミュニケーションは、AIに任せられるものが出来てくるが、ノンバーバルコミュニケーションも大切に、これはAIでの実現は直ぐには難しい。

子供の時はノンバーバル、大人になるとバーバルで生きようとする。しかし、バーバルは代替が出てきて、世界中誰とでもコミュニケーション可能だが、ノンバーバルコミュニケーションも大切である。

目に見える世界のパラダイムシフトとして、もう一つ、キーワード3つFree×Open×Shareである。

例としては、IBMの医療用ワトソン、ライドシェア、シェアハウス等である。20世紀ビジネスは、有料、独占(商標登録)だったが、22世紀は前述の3つがないビジネスモデルは、駆逐される方向になる。

次に重要なものは、目に見えない世界でのパラダイムシフトで、今の若者はハングリー精神ゼロ、利己主義から利他主義に変化し、誰かのために生きようとしている。マズローの5段階欲求説の5段階目の自己実現の上に、菅原教授の言う6段階目の自己実現(他の人をハッピーにする)である。

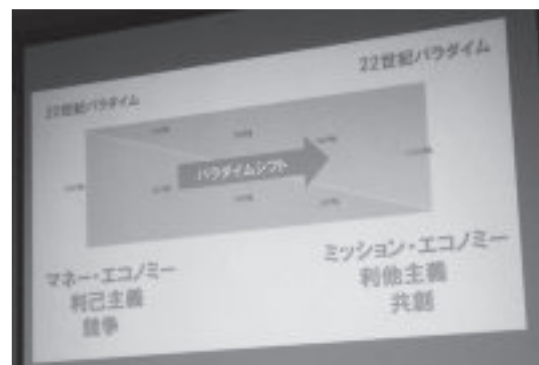


写真-4 パラダイムシフト-2

(3) フレームワーク

フレームワーク思考は非常に大事で、1次元から5次元までのフレームワークを使いこなせれば、世の中がはっきりくっきり見えてくるとのこと。

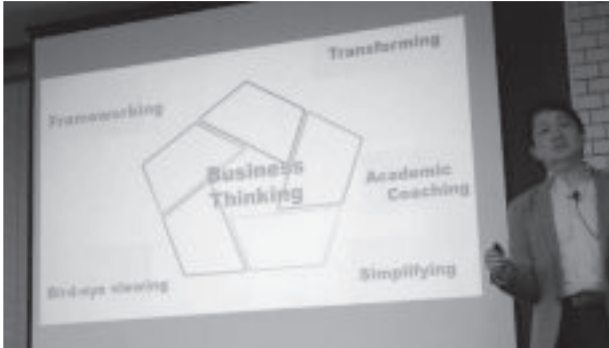


写真-5 Business Thinking のフレームワーク

以下、2次元のフレームワーク事例として、心理学的にはポジティブ80、ネガティブ20が良く、一人でなくても他者との組み合わせでも良いこと、利己主義と利他主義では、成功している人達は利他主義が多いことが示された。また、経済的利益・お金・欲と非経済的利益・使命・愛では、特に非経済的利益(ライセンス)が非常に重要である。

次に、否定主義・減点主義・同質性主義と肯定主義・加点主義・多様性主義の2次元フレームワークが示され、言葉の中に、‘でも’や‘しかし’の多い否定・減点・同質性主義では、日本では同質性主義が蔓延しているとの指摘があり、肯定主義・加点主義・多様性主義は、はい、ありがとう、そうですねの言葉が多く、先生は100%こちらとのこと。

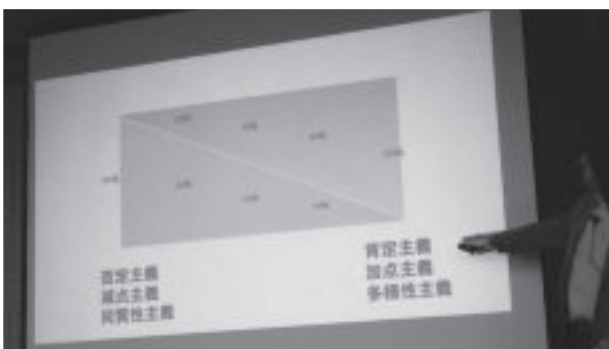


写真-6 2次元のフレームワーク例

多様なものが共存するからイノベーションが生まれる。みんな同じでは絶滅するとの指摘があった。

フレームワークの作り方については、YouTube 10月24日の講義を見てもらうと解るそうです。

3. 今後の研究について

人間の意識には、八識あるが、六識まではコーチングで変えられることが分かっているが、あとの二つを変えられないとポジティブになっても、元に戻ってしまう。つまり、コーチングはやり続けないといけない。

この件については、現在、授業で実践中なので、今後2、3年後には、データを出せるようになるそうです。今年度にフレームワークを作り、次年度の授業に反映させる予定とのこと。

(1) 人の価値について

人の価値については、存在価値と機能価値の二つがあり、生まれた時は存在価値100%だが、社会では、存在価値の上に機能価値があり、機能価値100%になってくる。

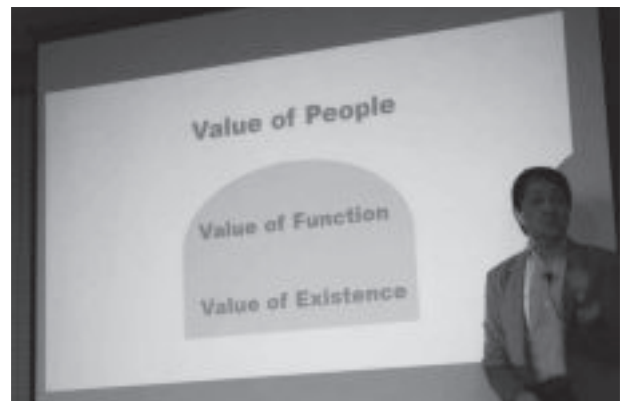


写真-7 人の価値(存在価値、機能価値)

存在価値はおそらく9歳までに作られる(これから実証するとのこと)。9歳までに作りそこなっている若者が多くいる。本来、存在価値は家庭で作られるが、色々な環境下で9歳までに存在価値がしっかりと作られていない人も増えているそうです。

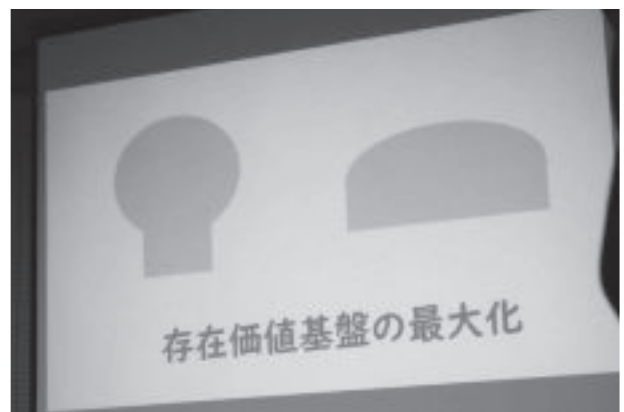


写真-8 存在価値基盤

一方で、存在価値がしっかりとしている子もあり、この場合は、ほっておいても機能価値は伸びる。存在価値が小さいところに機能価値を大きくすると、どこかで倒れる。

20 世紀の教育は、機能価値を高めることに集中したが、22 世紀の教育は、存在価値基盤の最大化のための教育を(仮説)色んな手法を使って、例えば人の存在価値基盤を 3D プリンターで表現できないか等を考えている。

人類の歴史は、SF ワールドを現実化することで出来上がっている。過去の 100 年は、5 ~ 10 年で実現するようになってきている。あり得ないことが起こる。

22 世紀の教育として、9 歳までの学校を作り、幼稚園から 9 歳まで一貫で教えることを考えているそうで、現在の 633 教育を 4 で完了させ、あとは、自由にしてもらうことを考えているそうです。

心理学者、仏教学者、脳科学者と国際経営学者でチームを作り、3 年かけて創り上げたいそうです。

(2) 新しい価値の創造(イノベーション)

イノベーションは誰にでも起こせる。今あるものを、くっつけるだけ。

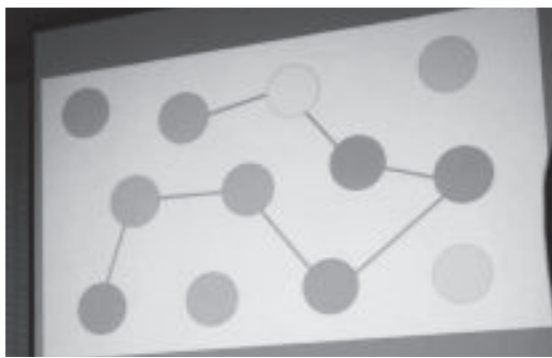


写真-9 イノベーション概念

スティーブ・ジョブスは、創造というのはドットとドットつなげることと言っている。小さい時に、ドットをたくさん作ることが大切で、やりたいことは全部やっておくと、その後が繋ぎやすい。周りの人にも、やりたいことはどんどんやらせることが大切で、これしかやるなというのは 20 世紀のひと。

(3) 成功するための 5 つの鍵

①偉大な先生・師匠、②理論と実践を踏まえた経営学、③欲にまみれていない直観(マインドフルネスで心をきれいに)、④天国と地獄は紙一重(他己実

現なくして自己実現はない)、⑤ Happyfulness (物質的、健康的、メンタル、スピリチュアルで周りの人をハッピーに：笑顔のため、能力を伸ばすため)

(4) セレンディピティを起こすには

スタンフォード大学のクランボルツ博士によると、セレンディピティを起こすには、「好奇心 Curiosity」、「冒険心 Risk Taking」、「楽観性 Optimism」、「柔軟性 Flexibility」、「持続性 Persistence」の 5 つが必要で、好奇心があると何かをやるから冒険する⇒冒険すると失敗するので、楽観的でなくては乗り越えられない⇒楽観的に乗り越えると訳の分からない状況に出会うから、柔軟性がないと対処できない⇒柔軟性があることでそれに対処すれば、それを継続していく。という好循環が生まれるようです。

4. おわりに

閉会の挨拶で岩田委員長より、参加者が今までで一番多い講演会であったこと、欲にまみれた人間でもハッピーになれる方法が分かった気がする、固い仕事をしている人も今日は笑顔になり、大変有意義なご講演をいただいたとの話がありました。

講演会後の意見交換会にも学生や国際自由人の藤村正憲氏を含め、多くの方に参加して頂き、盛会であったことから満足できる講演だったと思います。

社会活動委員会では、既に来年度の講演についても準備を始めており、期待に反しない講演会を開催できると思いますので、今後ご参加の程よろしく願いいたします。

さて講演の最初に、個人のスマホで顔を撮影し、before & after で、来場者の皆さんの顔がどのように変わったかを比較するようになっていましたが、皆さん、今回の講演を聞いてどうなったか確認しましたか？ えっ私、ただのおっさんが写っているだけでした。純粋さがなくなっているからかもしれません。

河村 巧(かわむら たくみ)

技術士(建設/総合技術監理部門)

岩田地崎建設株式会社

